

公表

事業所における自己評価総括表

事業所名	学齢期療育相談・支援事業所いーずII		
保護者評価実施期間	令和8年2月18日	～	3月12日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)
			9名
従業者評価実施期間	令和8年2月18日	～	令和8年3月4日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)
			4名
事業者向け自己評価表作成日			

分析結果

	事業所の強み()だと思われること より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	質の高いサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼で前日の支援の振り返り、当日の支援の確認を実施し、情報を共有している。 ・新入職員のオリエンテーションの実施、継続的に支援の指導を実施している。 ・法人内研修の実施。また任意で研修に参加できる制度や補助がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性をより高めていくため個人個人のスキルアップ向上、法人の研修制度を活かしていく。 ・研修に参加しやすい環境づくりや体制整備を継続して行っていく。 ・意見を出しやすいような雰囲気づくり
2			
3			

	事業所の弱み()だと思われること 事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	アンケートの結果から環境や体制整備、各種マニュアル、訓練等の周知ができていない	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への十分な周知、説明不足 ・マニュアルが多く、全部の周知、把握が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約説明の効率化、掲示物回覧の促し
2	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他の子どもと活動する機会がない	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童とのつながり(関係性)があまりなく、日々交流する機会がほとんどない 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて長期休み期間中の外出活動を活用し、地域との交流、つながりをはかっていく。(地域の交流スペースの活用など) ・自立支援協議会、子ども部会などを通して関係性を構築していく、積極的な会議での発言など
3			